



広報



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

ま づ き 12

2016
(平成28年)

No.631

第5回棚田音楽祭(11/5)



まつざきマイドリーム2016発表会



10月22日、「まつざきマイドリーム2016発表会」が、環境改善センター文化ホールで1000人を超える参観者を集めて行われました。

この発表会は、町の将来を担っていく若い世代に、「ふるさと松崎」についての思いや願い、夢や希望を持ってもらうことや、町を盛り上げていくアイディアを自由な発想で提案してほしいという願いを持ち、開催したものです。

今年度は、小学校5年生から高校生までの12人が、緊張した面持ちの中にも自分の町への思いや、町のこれからに対する夢や希望をしっかりと持って主張していました。

発表会は、松崎中学校の藤井俊輔さんと眞野陽世さんの司会進行で行われ、発表者からは、人口問題やそれに伴う自治体消滅の不安、雇用の創出やインフラ整備の課題等、子どもながらにも町の課題を

よく捉えた発表が多く、将来の町を担う子どもたちが、日常生活の中で大人が感じるような視線で町を見ていることや、町の魅力を感じていることが伝わってきました。また、「こんな町にしたい」僕が松崎町のためにできることは何かがあるか」等、夢や希望のある発表や、町のために力を尽くしたいという郷土愛に満ちた発表もありました。講評に立った齋藤町長も町をより活性化させるための豊かなアイディアに感心していました。

実際に、このような発表会を通して語られた小学生や中高生の発表を参考にして、町おこしを進めた事例はたくさんあります。こうした発表会を続けていくことで、若い世代の柔軟な発想力が生かされ、松崎町がますます活気に満ちた魅力ある町になっていくと思います。さらに、発表会をきっかけに町の現状に目を向

けて、若い世代からお年寄りまでみんなでの町の将来について語り合う雰囲気、町全体に広がっていくことを期待します。



発表者の稲葉花奏さん



司会の藤井さん（右）、眞野さん（左）

【発表者およびタイトル】

○松崎小学校

- ・稲葉 花奏さん（5年生）
「やさしさのあふれる松崎町」
- ・窪田 倅花さん（5年生）
「美しい松崎町の川」
- ・梅木 涼太くん（6年生）
「人と人とのつながりをつくる」
- ・石田 彩さん（6年生）
「フールドバレ―松崎をめざして」

○松崎中学校

- ・土田 倫生佳さん（1年生）
「安心と魅力ある松崎町」
- ・中村 洸太さん（1年生）
「活気あふれる松崎町にするために」
- ・菊地 直央さん（2年生）
「松崎のために僕ができること」
- ・田中 優羽さん（2年生）
「松崎町をお年寄りが活躍する町に」
- ・高橋 穰司さん（3年生）
「ホットマツザキ」

- ・新田 真依さん（3年生）
「松崎町を発展させるために」
- 下田高校
- ・新田 英里さん（1年生）
「松崎町に求めること」

- 松崎高校
- ・稲葉 征成さん（1年生）
「今後の松崎町について」



発表者の皆さん

【問合せ】

教育委員会（42） 3971

松崎町功労者表彰

11月17日、環境センター文化ホールにて、松崎町功労者表彰式を行いました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の政治や福祉等、各分野において、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。

受章された方々は次のとおりです。

有功表彰

北 区 渡辺 惇さん
(現 保護司)

多年にわたり、保護司として、犯罪の予防、犯罪や非行をした者の自立更生等に尽力し、社会福祉の増進に貢献。

吉 田 鈴木 公康さん
(現 保護司)

多年にわたり、保護司として、犯罪の予防、犯罪や非行をした者の自立更生等に尽力し、社会福祉の増進に貢献。

善行表彰

模範行為

松崎ボートクラブ

多年にわたり、松崎旧港等での清掃活動や盆踊り等の行事を開催し、地域のにぎわいづくりに貢献。

感謝状

有害鳥獣駆除

賀茂猟友会松崎分会

多年にわたり、有害鳥獣駆除に携わり、農作物や土地の安全を守るとともに、農産業の振興に貢献。

社会福祉、産業振興への貢献

企業組合 蔵ら

多年にわたり、高齢者の生きがい作りや居場所作りを継続し、地域活性化に貢献。



表彰状を受け取る渡辺さん

静岡県知事表彰受賞

「松崎町石部地区棚田保全推進委員会」が、「平成28年度静岡県知事表彰」を受賞しました。

この賞は、静岡県内で産業開発振興・社会福祉・治安維持等の分野において、社会・公共の発展のために大きく貢献した個人または団体に贈られます。

今年は50の個人および団体が受賞し、同保存会は「地域活動・ボランティア等善行功労」の分野で、「長年にわたり、棚田の保全活動を継続し、美しい景観の形成や交流人口の拡大など、地域の活性化に寄与した」功績が認められ、受賞となりました。

11月3日に静岡県庁で行われた表彰式には、高橋周蔵会長と高橋靖副会長が出席し、川勝平太静岡県知事から表彰状を授与されました。



高橋周蔵会長（左）と高橋靖副会長（右）



表彰式の様子

【問合せ】
企画観光課（42）3964

町の財政状況

平成28年度 一般会計 上期執行状況

平成28年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳入

41億4,638万8千円 上段：予算額
20億2,951万4千円 下段：収入済額（ ）：収入率（48.9%）

地方交付税	15億2,037万7千円 11億 868万9千円	(72.9%)
町 税	6億4,821万3千円 3億8,772万4千円	(59.8%)
町 債	5億1,016万1千円 0千円	(0%)
国庫支出金	2億7,172万6千円 4,816万円	(17.7%)
県支出金	2億1,996万1千円 997万6千円	(4.5%)
地方消費税 交付金	1億4,700万円 7,308万1千円	(49.7%)
諸 収 入	1億2,336万1千円 4,700万1千円	(38.1%)
繰越金	1億円 1億7,557万2千円	(175.6%)
使用料及び 手数料	6,780万6千円 2,216万8千円	(32.7%)
繰越明許費	2億3,450万5千円 1億2,626万1千円	(53.8%)
そ の 他	3億 327万8千円 3,088万2千円	(10.2%)

歳出

41億4,638万8千円 上段：予算額
15億1,509万円 下段：支出済額（ ）：支出率（36.5%）

民 生 費	8億3,731万4千円 3億5,529万7千円	(42.4%)
総 務 費	8億 959万9千円 2億4,645万円	(30.4%)
教 育 費	5億7,111万4千円 2億1,037万5千円	(36.8%)
衛 生 費	4億2,683万9千円 1億5,077万1千円	(35.3%)
公 債 費	2億9,765万3千円 1億4,797万1千円	(49.7%)
農林水産業費	2億3,736万4千円 6,050万8千円	(25.5%)
消 防 費	2億3,176万円 1億1,967万円	(51.6%)
土 木 費	2億2,626万5千円 3,671万2千円	(16.2%)
商 工 費	2億 410万3千円 8,378万円	(41.0%)
繰越明許費	2億3,450万5千円 7,860万5千円	(33.5%)
そ の 他	6,987万2千円 2,495万1千円	(35.7%)

町民1人あたりでは

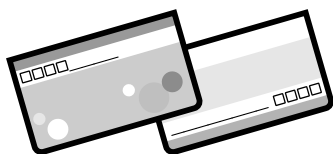
平成28年9月30日までに
納めていただいた税金（町税） 約5万5千円

平成28年9月30日までに
使ったお金 約21万5千円

9月30日現在の基金（町の貯金）と町債（町の借金）の状況

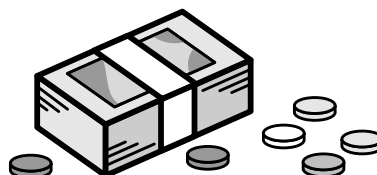
●町の貯金（財政調整基金等、14基金）

19億589万7千円
町民1人あたり約27万1千円



●町の借金

30億5,219万7千円
町民1人あたり約43万4千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口7,033人で計算しています。

【問合せ】総務課（42）3963

松崎高校広報く西豆と共にく (連携型中高一貫教育)

新生徒会について

生徒会長

2年生

石田 蘭さん

(松崎中学校出身)

この度、平成28年度後期生徒会長を務めさせていただく



くことになりました。生徒会長という大役を受け、これらの松高をより前進・活性化させるべく、松高全体を引っ張っていくという新たな気持ちも含め、身の引き締まる思いです。先生方や生徒の皆さんの力をお借りしながら、生徒会活動や高校生活を通じて松高と共に自身も成長していきたいと考えています。私が一番に力を入れてやっていきたいことは行事改革です。双獅祭や体育大会等の学校行事を例年以上に盛り上げるため、初期段階からの企画

に始まり、何度も話し合うことや検討を重ね、実現・実行できるよう尽力します。これまでの先輩方から受け継いできた伝統を守りつつ、自分たちらしい「松高の色」が出せるように、松高に新たな風を吹き込みたいと思います。

陸上部 東海大会出場！

陸上競技部

〇円盤投げ

2年生 船津 有里さん

〇ハンマー投げ

2年生 笹子 凜太郎さん

(共に松崎中学校出身)



船津さん(左)と笹子さん(右)

(船津さん)

2度目の東海大会出場権を

得ることができました。1度目のときは緊張等で自分のベストな動きができず、満足できない結果で終わってしまいました。東海大会は愛知の競技場で行われます。今回も緊張してしまうと思います。大会までの短い期間で、自分の動きを一つひとつ確認し、自信を持って本番に望めるよう頑張りたいです。当日は、自己ベストを狙います。

〔東海大会の結果 3位〕

(笹子さん)

県大会では思うような投げができず3位に終わってしまっただので、東海大会では冷静になり普段以上の投げをして優勝を狙います。

〔東海大会の結果 5位〕

9月29日

創立記念講演

沼津市災害ボランティアコーディネーターの厚見秀人さん(本校卒業生)により、演題「大災害その時あなたは



創立記念講演の様子

どうする」の講演をしていただきました。無事であればボランティアとして高校生が活躍することが出来ます。最近の大地震や想定される被害のビデオを見て、地震が起きた後の対処より地震が起きたもケガをしない事前の対処が必要であることが理解できました。「避難所に集まる人は皆被災した人たちであり『避難所に行けば何とかなる』と思っていてはいけない。避難した人が支援する主体になるという意識をもってほしい」と話されたのが印象に残りました。



10月29日「オープンスクール」の様子



11月18日「校内球技大会」の様子

【問合せ】

松崎高校(42) 0131

『税を考える週間』

税に関する作品

審査結果

毎年11月11日から17日まで
の一週間は、「税を考える週
間」です。

伊豆下田納税貯蓄組合連合
会では、この週間に合わせ、
今年も小学生・中学生を対象
に「税に関する作品（ポスター、
習字、作文）」を募集しまし
た。

今年は、賀茂地区の小学校・
中学校から習字の部に443
点、ポスターの部に111点、
作文の部に475点の応募が
ありました。

松崎町では、松崎小学校か
ら習字の部に46点、松崎中学
校から作文の部に29点の応募
があり、審査の結果、下記の
とおり入賞者が決定しました。

【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

入賞作品

作文

○下田税務署長賞

植松 叶和さん（松中2年）

○下田市・賀茂郡租税教育

推進協議会長賞

吉長 美夢さん（松中2年）

習字

静岡県納税貯蓄組合連合会銀賞
矢野 優歌さん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 矢野優歌

下田市賀茂郡租税教育推進協議会長賞
北島 杏結さん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 北島杏結

松崎町長賞
稲葉 健太くん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 稲葉健太

松崎町教育長賞

中江 優里さん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 中江優里

伊豆下田納税貯蓄組合連合会松崎町
賞 小木曾 由将くん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 小木曾由将

伊豆下田納税貯蓄組合連合会
賞 佳作 松崎町
佐藤 裕哉くん（松小6年）

役税割の

松崎小 六年 佐藤裕哉

振興公社管理施設上半期実績

平成28年度上半期振興公社
管理施設の実績は、昨年度か
じかの湯が休館だった花の三
聖苑と伊豆まつぎ荘以外の
入館施設では、伊豆南部の多
くの観光施設と同様に、入館
者が減少し、厳しい結果とな
りました。

伊豆まつぎ荘は、台風の
影響もあり、8月と9月は前
年度当月対比で減少しました
が、好調な割引プランの継続
等により、宿泊者を1015
人増加することができました。
一昨年から始めた町民紹介

割引制度でも、1070人の
お客様を紹介いただき、日
帰り入浴や休憩（会食等）で
も、地元の皆様に大変多くご
利用いただいています。

9月からは、近年増加して
いるサイクリストを受け入れ
るため、「サイクリスト応援プ
ラン」を始めました。

今後も、多くの皆様に伊豆
まつぎ荘を知っていただく
ため、お客様に喜んでもらえ
る企画を検討してまいります。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

平成28年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度 (人)	前年度 (人)	比較 (人)	割合 (%)
伊豆まつぎ荘	宿泊	12,048	11,033	109.2%
	入浴	2,522	3,014	83.7%
	休憩	3,107	3,044	102.1%
	小計	17,677	17,091	103.4%
伊豆の長八美術館	入館	12,698	14,229	89.2%
重文岩科学学校	入館	7,731	9,173	84.3%
明治商家 中瀬邸	入館	6,120	7,347	83.3%
民芸館	利用	3,338	4,470	74.7%
道の駅花の三聖苑	利用	12,838	10,868	118.1%
	入浴	13,115	3,124	419.8%

※かじかの湯は、前年度4/17～9/4休館

夢に向かってくヴァンデ・グローブ 出場中く 松崎町観光大使 白石康次郎氏

海洋冒険家の白石康次郎氏は、1993年10月3日、松崎港から出航し、26歳で当時の史上最年少単独無寄港世界一周を達成しました。榑岡村造船所をはじめ、町内からのたくさんの応援に見守られ、1994年3月28日に松崎港に戻ってきました。

これ以降も白石氏と松崎町とのつながりは続き、今年8月4日、松崎町の魅力を全国に発信する「松崎町観光大使」を白石氏に委嘱しました。

その白石氏が、この11月6日から、最も過酷な単独世界一周ヨットレースと言われる「ヴァンデ・グローブ」に、アジア人として初めて出場しています。

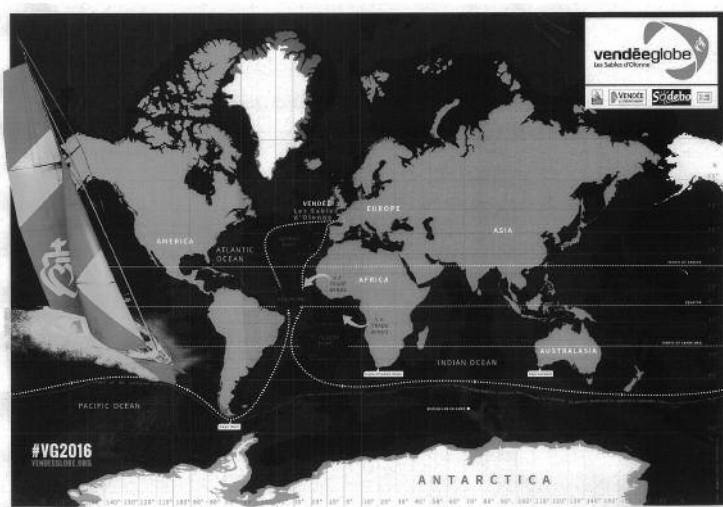
「ヴァンデ・グローブ」は、フランス・ヴァンデ県・「レ・サール・ドロンヌ」をスタートし、約80日間をかけて単独無寄港無補給で世界一周をし、

再びゴール地となる「レ・サール・ドロンヌ」を目指すヨットのスピードレースです。

白石氏は、8月の講演会にて来場者の皆様からいただいた募金や応援旗とともにレースに臨んでいます。

11月25日現在では、赤道を越えて南半球に入り、順位は25艇中13位でした。

レースの様子は、毎週金曜日の夜、テレビ朝日の「報道ステーション」で放送されています。



「ヴァンデ・グローブ」レースの経路

るほか、インターネット等でも確認できますので、松崎からもたくさんの方の応援を送りましょう。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

熊本災害派遣体験について

熊本地震の災害派遣職員として、5月1日から約1週間、熊本県嘉島町で罹災証明発行に必要な家屋の被害認定調査業務に当たりました。

○感じたこと

被害認定調査業務を通じて住民の方と話しをする機会がありました。皆口々に「こんな大きな地震が来るとは思わなかった」と言っていました。また、住宅が倒壊する不安から狭い車の中に家族で避難している方もたくさんいました。熊本県では大きな地震の記録は無く、普段起こりう

る水害対策は行っていました。が、地震対策は十分にされてきていなかったため、住民も自治体も被災後に必要な行動が分からず戸惑っていると感じました。

○伝えたいこと

今回被害を受けた家屋のほとんどは、昭和56年以前に建てた旧建築基準法の住宅でした。また、家の被害は無くても塀等が倒れている所もありました。

松崎町において現在住宅の耐震化率は約6割です。発災後の速やかな生活の再建には自分の家が残っていることがカギになります。そのためにも、住宅の耐震診断を受けてください。

懸念される南海トラフ地震もいつ発生するかわかりません。日頃から訓練への参加、町の補助金等を利用した災害に対する備えを進めていただきたいと思っています。

（生活環境課 渡邊一貴）



倒壊した家屋

My Town Topics ～まちのできごと～



グリーンパパイアカフェ

10月25日、「青パパイヤ」の可能性を探る1日限定のカフェが「ふれあいと一ふや。」にオープンしました。来場者は、町内外の有志が調理したパパイヤ料理を味わいました。



ジオ学習会

10月29日、みどりの少年団と海洋クラブ合同で、ジオガイドを講師に招き、「ジオ学習会」を行いました。千貫門や室岩洞では、座学で学んだ鉱石を実際に見て触る体験ができました。



田んぼをつかった花畑「種をまく人」

11月6日、那賀の「田んぼをつかった花畑」で、種まき体験が行われました。参加者は、来春に向けて6種類の種をまき、作業終了後は、ひまわり会提供のおにぎりをいただきました。



さんさん松崎福祉大会

11月8日、「さんさん松崎福祉大会」が行われました。帰一寺住職の講演、カラオケや踊りを披露する演芸大会等で一日盛り上がりしました。

まつりの元気は町の元気度

11月2日・3日の2日間、

松崎地区では、毎年恒例の秋まつりが行われました。

この秋まつりでは、伝承者の方をはじめ、準備から片付けまでを担った若い世代の方、また、まつりに参加した子どもたち等、世代を問わず多くの皆様が協力し、地域の伝統を継承し、地域を盛り上げていることと思います。

松崎町は少子高齢化が他市町に比べ急速に進展し、人口7027人のうち、65歳以上の高齢者が3031人、高齢化率は43・1%となっていますが、秋まつりを拝見し、町の元気を再確認させていただくことができ、心強く思っています。

町長室からこんにちは ⑧4

このまつりの期間中、地域のさまざまな年代の方が集まり、練習を通じ、多様な会話をされたことと思います。その中には、町の将来や子どもの将来を考えた会話があったと思います。「町づくり」や「町の活性化」というと、難しく自分には無関心なことと考えている方が多いと思いますが、こうした会話が町を活性化する起爆剤になります。

こういった声を施策に反映していくのが役場の仕事だと考えていますので、皆様の声を届けていただきますようお願いいたします。

松崎町長
齋藤 文彦

わが 猟で町の農業を守る

賀茂猟友会松崎分会

賀茂猟友会松崎分会は、戦時中から現在まで、有害鳥獣を駆除し、農作物や土地を守る活動を続けています。

会員は、多い時は200人以上いましたが、現在は約50人で活動しています。

平成13年から会長を務



▲山へ駆除に向かう様子

Profile

かもりょうゆうかい まつざきぶんかい

現在は、30～70代の約50人の会員で銃猟・わな猟等を行っています。
興味のある方は、役場産業建設課へお問い合わせください。

(TEL 42-3965)

める山本眞與さんに話を聞くと、「最近の動物は小さい時からエサがないため里で育ち、人にも慣れていきます。そのため、農作物への被害が増加している傾向にあります。加えて、学習能力が高く、駆除が難しくなっています」と話してくれました。

今年度の駆除活動の様子を聞くと、「対象地区は、被害の状況や動物の生存数を考慮しながら、年間の活動予定を決めています。駆除は、銃猟の免許を持つている会員約30人の協力が必要になります。活動は、休日の対応が基本となりますが、会員は、嫌な顔一つせず対応してくれるので難しいです。山に入ると無線で連絡を取り合いながら、鹿や猪の通り道で待ち伏せして駆除します。今年は、10月までに猪や鹿を450頭以上駆除しましたが、被害は治まる様子がありません。今後は駆除だけでなく、皆が協力して被害を減らしていく必要があります。例えば、農作物への対策は、隠れ家となる耕作放棄地を作らないこと、柵を設置したら時々見回ること等が有効な対策になります。できることは各自でやりながら、並行して駆除することが重要です。また今後は、女性や若者のハンターも増えてほしいです」と話してくれました。

地域交流通信

松本市安曇地区から 安曇地区文化祭

今年で34回目を迎える安曇地区の文化祭が11月6日に開催されました。

今回の文化祭は、昨年に引き続き「地産地消で楽しむ・おいしい」をテーマに催しものを検討しました。

オープニングに地元大野川小学校児童による迫力ある太鼓の演奏、メインイベントとしてカラオケのど自慢大会を据え、安曇地区の文化財の発表、舞踊発表、子ども向けのレク等を行い、地区内の老若男女を問わず大勢の方に参加していただき、大変盛況な中閉幕しました。

地産地消をテーマにしていることから地元旅館、企業等から山菜おこわ、おやき、手作りサンドイッチ、スイーツ、りんごジュース等の販売、JAあづみからはきのこ汁の振る舞いがあり、参加者のお腹を満腹にしていました。また、各賞品も地元企業から協賛をいただきました。

カラオケのど自慢大会では参加者が公開プロポーズをして会場から盛大な拍手が湧き上がるハプニングがありました。地域の皆さんと一から作り上げた文化祭をより良くすることができるよう、一層地域の皆さんと協力をして盛り上げていき、地域活動の発表の場や活性化の場になることを願っています。



文化祭の様子

町の人口と世帯

(平成28年10月31日現在)
()内は前月比

総人口	7,027人	(-6人)
男	3,331人	(±0人)
女	3,696人	(-6人)
世帯数	3,019戸	(+3戸)
転入	8人	転出 9人
出生	3人	死亡 8人

戸籍だより (10月届出分)



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈4	実里	女	保坂亮三
宮内	紬喜	女	堀田宏
峰輪	誠	男	太田勇作

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈1	中村紘子	71	力
雲見	美澤ますゑ	90	信治
西区	山崎睦男	90	博志
石部	鈴木キクエ	88	繁樹
江奈2	石田初枝	71	忠行

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成28年10月発生分

()内は前年同月比

人身事故	3件	(+2)
物損事故	11件	(+6)
死者	0人	(±0)
傷者	3人	(+2)



小林 周平くん
(江奈2)



菊池 晃樹くん
(金沢)



土屋 孝介くん
(八木山)



高橋 虹子ちゃん
(江奈2)



山崎 麗愛ちゃん
(櫻田)



藤井 龍牙くん
(江奈2)



山本 雅広くん
(船田)



山本 翔葵くん
(中村)

【問合せ】
健康福祉課
(42) 3966
※このコーナーは偶数月に掲載します。

ピカピカ
キッズ



3歳児健診で「虫歯」がなかった
お子さんを紹介します。

松崎文芸

— 短歌 —

里山の緑深まり日び眺む
野鳥さえずり蛙雨知らず
つまみ上げたる手の甲の皮がいつまでも
戻らず一の字になりてゐる
還暦をむかへたる息の祝盃は
水入らずがよし親子二人で
ゆふすげの咲ける岬をのぼりくる
海よりの風に透ける思ひす
肉厚のちひさき手の平船大工の
亡父に似てをり恰好のわるし

山本智恵子
堀岡洋子
飯野ふさ
中村宣子
石田安江